

ビーズストラップ



周南市大島にある障害者支援施設「白鳩学園育英館（いくえいかん）」で「ビーズストラップ」は作られています。

白鳩学園に通われている利用者さんは、学園生活を通じて、一人でも食事などの日常生活が送れるように練習しています。その傍ら、5～6年前（2009年頃）から日中の活動のひとつとして、何かを始めようと、職員さんみんなで知恵を絞って「ビーズストラップ」を思いつき、作り始めました。

初めは苦勞の連続で、なかなか思うようなストラップを作ることができなかつたそうですが、今では市販のハンドメイド小物にも劣らない、白鳩学園自慢の商品のひとつです。

ビーズストラップは3本の釣り糸からできていて、全て手作業で作られています。

ストラップ1個分の材料を職員さんがトレイに入れます。それを利用者さんが、糸に通したり、ビーズを順番に入れたりします。

大きなビーズや小さなビーズ、丸いビーズや星型、花形のビーズなどがある中から、どう組み合わせるのか、利用者さんのセンスが光ります。

作業にも工夫を凝らしています。予め仕切りのある箱の中に、糸に通す順番にビーズを並べておいたり、ビーズが落ちても見やすいように机の上に黒い布を敷いたり、どうしたらストラップが作りやすいか試行錯誤しながら、作りやすい環境を整えました。

一つひとつ丁寧に作られているからこそ、売れた時の感激もひとしおなのです。今後はもっともっと、たくさんの方々に知ってもらえることが目標のひとつです。

利用者さんの想いや夢や希望を乗せて、「ビーズストラップ」は今日も作られています。

